



ジェニーとキャットクラブ

くろ 黒ネコジェニーのおはなし 1

まつおかきょう こ はりかえけい こ ふくいんかんしよてん
アベリル作 松岡 享子・張替恵子訳 福音館書店

キャット・クラブという、近所^{きんじよ}にすむネコたちがみんな
はいつているあつまりがありました。けれども、はにかみ
やのジェニーは、なかまにいれてもらう勇氣^{ゆうき}がありません。
クラブにはいるためには、なにか特技^{とくぎ}がひつようなのです。
冬^{ふゆ}のある日^ひ、まどから外^{そと}をながめていたジェニーは、とつ
ぜん^{おも}思いつきました。「あたし、ス
ケートをやってみたい。スケートな
ら、できるかもしれないわ」
クラブやネコの学校^{がっこう}、パーティー
を舞台^{ぶたい}に、小さな黒ネコジェニーが
くりひろげる三つ^{みつ}の物語^{ものがたり}。

